

## 徒然想

「今ある技術はいつか必ず陳腐化するものだ」とは、弊社の中では事あるたびに使われる言葉です。もうすぐ入社する新人たちも、その言葉を聞かされてチャレンジし続ける事の大切さを学んでいくと思っています。ところで、偉大な JAZZ トランペッターのマイルス・デイヴィスは名言が多いことでも知られていますが、その中のひとつにこんな言葉があります。「新しさってのは必ず何かを与えてくれる」と。マイルスをよく知る方なら納得される言葉でしょう。音楽に限った事ではなく、常に新しい何かを目指すのが自分たちの生きていく根源的な力であり、それが希望という風景になって誰かの日々にかされたら、こんなに嬉しいことはない。そのように思います。

## TECHNICAL TOPICS KRCの技術情報はこちら

### 3Dレーザ計測による海外遺跡調査事例

#### ～イタリア、エジプトにおける考古学・建築史学研究～

これまでの遺跡調査は、主に人の手作業によって行われてきました。しかしこの方法は、これまで多大な成果をあげてきたものの、効率性、正確性、再現性の面でさまざまな改善の余地がありました。3Dレーザスキャナは、これらの問題を解決する最適なツールとして、遺跡調査に導入されるケースが増えてきています。特に海外調査という短い期間に効率的に広い範囲を調査できることは大きなメリットです。遺跡のドキュメンテーションという点からも従来の手法より優れています。そのような時代背景のもと、当社では2009年と2010年の夏に九州大学人間環境学研究院都市・建築学部門の堀教授と共に、**イタリアのオステリア遺跡**、**エジプトのアクリス遺跡**において考古学・建築史学研究のための3Dレーザ計測を行いました。

**イタリアのオステリア遺跡**はローマ近郊、テベレ川の下流付近の海岸沿いに位置し、古代ローマ帝国の支配時から古代末期には衰亡した港町です。都市の中心のフォルム(広場)にはカピトリウムと呼ばれる神殿が残され、当時の円形劇場は20世紀に修築され、現在でも野外劇場として利用されています。3層以上の高層建物が多数存在し、床一面に飾られたモザイクに保存状態の良いものが多いのも特徴です。主に、1. 都市全体のマップ作成、2. 街路の形状計測、3. 高層建築の傾き調査を行いました。

**エジプトのアクリス遺跡**はカイロの南、230kmに位置する中部エジプトの主要都市であるミニヤの北東に位置し、ナイル川の河岸段丘の石灰岩の台地上に古代エジプト時代の住居跡や神殿、墳墓、石切場が広がっています。露天掘りが行われた石切場には多数の加工痕が残され、当時の操業の様子を窺い知ることができます。アクリス遺跡は、筑波大学大学院人文社会科学研究所の川西教授を団長とするアクリス調査団によって、30年にわたり発掘調査が行われてきた遺跡です。私たちは主に、1. 遺跡全体の地形計測、2. 石切場の計測、3. 一材式未製円柱の復元考察を行いました。

両遺跡の調査内容と結果について、詳しくはぜひこちらをご覧ください。

<http://www.krcnet.co.jp/works/works0670.html>



オステリア遺跡 円形劇場



オステリア遺跡 都市の全体マップ

1950年代に測量されたオステリアの地図と3Dレーザスキャナで計測したデータを比較した結果、いくつかのズレを発見し、その原因についても考察しました。



アクリス遺跡 計測状況

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: [krc@krcnet.co.jp](mailto:krc@krcnet.co.jp) HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。